

# 庄原自治振興区だより

第182号 令和3年12月20日発行

〒727-0013 庄原市西本町二丁目 17番 15号

TEL/FAX (0824)72-3777



## 令和 3 年度 先 進 地 視 察 研 修 報 告

「自主防災活動の取り組み ~ 平成26年8月20日広島市豪雨・ 土砂災害の経験から学ぶ」をテーマに、広島市安佐南区八木地区へ 17名で視察研修を行いました。

平成26年に発生した広島市豪雨・土砂災害から7年が経過しました。集中豪雨で土石流などが相次いで発生し、災害関連死を含め77人がなくなり、現在、復興に向けて治水対策として、砂防堰堤の整備・生活道の整備・避難路の改良・公園の拡張など、様々な事業が進められています。

地域内にあり、住民同士の絆を深め、"こころ"を復興し、次世代の減災のために、語り継ぎたいとの願いで活動されている「復興交流館モンドラゴン」の事務局長 松井憲さんの案内と説明で土砂災害の状況・復興の道すじなど、詳しく説明を受けました。

参加した皆さんは土砂災害のすさまじさを体験し、いつどこでも起こりうる豪雨災害から自主防災活動の大切さを痛感しました。

午後からは、安佐北区の「広島市総合防災センター」で火災・地震・降雨等にかかる基礎知識・煙体験・地震体験・消火体験などの講習を受けました。















# 令和 3 年度 全回統一防火標語

「おうち時間 家族で点検 火の始末」



## 第8回役員会報告

(11月24日)協議事項等は以下の通りです。

- (1) 第14回活動報告・作品展の参加者・参加団体について(11月7日(日)開催)
  - ◆作品展示・・・・生涯学習 15 団体、女性部 1 団体、青壮年体育部 3 団体、環境衛生部 3 団体
  - ◆ステージ発表 4 団体、ベジタキャベツ 200 個、東城ポートリー卵 1,000 個、お茶席 100 人、綿菓子 100 本
- (2) 令和3年度福祉関連団体合同研修会開催について
  - ◆日時·会場・・ 12/7(火)、13:30 ~ 16:00、ふれあいセンターコパリホール「地域共生社会を求めて!」
- (3) 人権啓発 DVD の試写会報告について(自治会長対象視聴済)
  - ◆開催日時タイトル:10/26(火)家庭からふり返る人(27分) 11/24(水)私たち一人ひとりができること(26分)



## ~ いにしえの郷「<u>庄原」からのつたえごと</u> ~ No.20

#### シリーズふるさと歴史文化散策 近世 1

《 郷土を多角的に見つめる豆知識: 芥川龍之介作品に登場する県北の怪談 》

NHK大河ドラマ『青天を衝け』を見ている方はよくご存じだと思います。慶応4(1868)年1月、徳川慶喜の「大政奉還」に端を発する鳥羽・伏見の戦いに始まり、翌年5月に五稜郭の戦いで終る戊辰戦争(ぼしんせんそう)で徳川方は一掃されます。

この年の7月江戸を東京と改称し、9月には1868年が明治元年と改められました。

#### - 寛永通宝と文久永宝の長旅 -

明治4年、政府は新貨条例を発布し、旧来の「両・分・朱」の貨幣制度を改めて「円・銭・厘」の十進法を採用(1両=1円)しましたが、新しい銅貨の発行が間に合わなかったらしく、江戸時代の銅貨である「寛永通宝」「天保通宝」「文久永宝」の3種は、そのまま流通が認められました。天保通宝は明治の中頃に使用停止となりましたが、寛永通宝と文久永



宝は昭和28年に「小額通貨整理法」が制定されるまで法的通用力を保ちました。

政府は明治4(1871)年7月、行政改革として「廃藩置県」の詔(みことのり)をだし、西暦 1603 年(安土桃山時代)から西暦 1871 年まで続いた、浅野家広島藩は解体して広島県となりました。

8月4日、旧知事浅野長勲(ながこと)の父長訓(ながみち)が、一族とともに東京移住のため広島を出発しようとすると、前夜から市民や近郡農民などが多数集会し、出発を阻止し知事引き留め等を哀願した。やがて農民蜂起となり暴動化し、県全域で約2カ月にわたる激しい打ちこわし・焼き討ちを伴う大一揆に発展しました。通称「武一騒動」といいます。

この騒動が庄原地方にも広がって来たのは8月 15 日です。恵蘇郡(山内地区と比和・高野・口和町)で打ちこわしがあった事を知った、三上郡(本村・高・本田・敷信)の農民達は続々と庄原に集まり、割庄屋2軒・庄屋1軒を打ち壊しています。この暴徒は、西城にも押しかけて奴可郡の暴徒と合流して、割庄屋・村役人宅等11 軒を襲撃しています。

庄原近辺での被害記録は、壊された家が三上郡で3戸、恵蘇郡で25戸、奴可郡で11戸となっていますが、死傷者はありません。騒動参加者の処罰は、「徒(懲役)」 刑が1名のみで他は全員無罪となっています。(『庄原市の歴史 通史編』『古文書にみる庄原地方のできごと』)

この明治維新という、政治の大改革に翻弄された庄原地方農民騒動のエピソードを、有名作家の芥川龍之介が蒐集し『椒図志異』(しょうずしい)という手帳に残しています。 "椒図、とは芥川龍之介の俳号(ペンネーム)で、彼は、東京第一高等学校時代に全国の怪異話を集めていますが、時期的には倉田百三と高校入学年次(明治 43年)が一緒なので、1910年から5年位までの間であろうと推測されます。それにしても鉄道すら通じていない、山深い備北地方の怪異話を、遥か遠方の東京にいる芥川龍之介が、なぜ知りえたのか疑問が残ります。もしかして、倉田百三が題材を提供していたとすれば、郷土史の新たな進展となります。内容は、市立図書館所有の『芥川龍之介全集第23巻椒図志異「幽霊及び怨念」編』(岩波書店)に収録されているのでご紹介します。

備後小奴可を去る四里に西城町と云ふあり 明治五六年の頃芸州公浅野氏 広島城をすてゝ東京 に移らむとし給ひし時 城下の百姓共いたく之をなげき無理にも止め奉らむとて騒動せし事あ りしが この騒ぎに乗じて日頃 百姓につらかりし庄屋代官などに怨を返さむとて所々に一揆の 起る事ありしが その巨魁の一人に秋田久兵ヱ高久と云う人あり 西城町の住なりしが捕へられて入牢申つけられさまざまの拷問をうけし後 遂に斬罪に処せられけるにその夜西城町の同人の住居の戸を討ちたゝきて「今帰ってきたあけてくれ」とよぶ者あり 家人その声をきくに紛れなき久兵ヱの声なれば母親余人にもましてうちよろこび 戸をひらきて招く入るゝに久兵ヱ座 敷に上りて「長々と苦しみましたが漸罪をゆるして貰ってかへりました」と云ひしが 忽ち霧か 煙の如くにきえぬ その時久兵ヱの姿は頭に手拭をかぶり居り 母親のみならず座にありし人の皆みたる由なり その後程なく広島より久兵ヱ斬罪の報来りしとぞ(石橋臥波氏談)

注記:石橋臥波(いしばしがは)は明治時代の民俗学者です。(枠内文章は原文のままを掲載)

次回は、「比婆郡誕生」についてご紹介します。 お楽しみに……。

《 文•構成 庄原自治振興区 歴史文化継承委員会 》





# "粮煙でつなぐ"地域をつなぐ"

第 14 回「狼煙」再現プロジェクト 今年は「のろしリレー」のみ行いました!







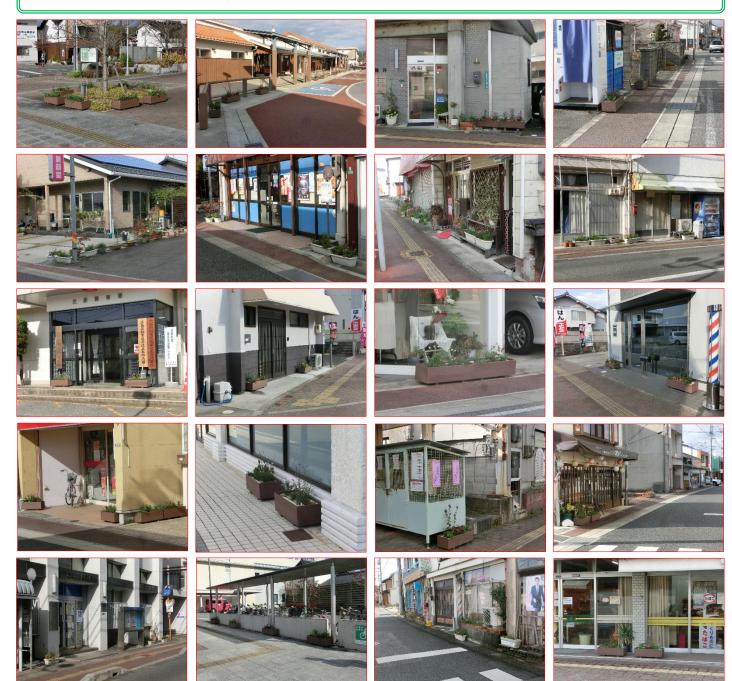






# 花と緑があみれるまちづくり事業、その後!

10月にスタートした「花と緑があふれるまちづくり事業」のプランター設置ショットを集めてみました。プランター300個、プランターカバーは今年度 150個、次年度で 150個を製作予定です。設置に協力して頂いた皆さん、申し訳ありませんがしばらくお待ちください。



### 自治会活動紹介

### 9 川手沖自治会 自治会長 元泉 順行

当自治会は、国道 432 号線と並行した西城川の東側に位置し、庄原大橋から明神瀬橋(通称掛田橋)を経過してクリーンコンサルタント設計事務所北側の市道八軒町線までの範囲です。

以前は国道沿いに民家は八軒しかなく、今日でも八軒町と呼ばれていると聞いております。アパート3棟・借家を含み112世帯265人中、自治会加入は85世帯で小中児童・幼児も多く若い世帯が多い地域です。(他に設計関係、保険関係、運送業関係等4企業)

- ・活動拠点:川手沖集会所(国道と西城川の間に位置)
- ・役員構成:自治会長、副会長、事務局長、会計、集会所責任者、班長、副班長、民生委員
- ・自治会費:前期分、後期分で4,000円(募金や各負担金などにも充当)
- ・主要行事:とんど・ボウリング大会・川手を知る会などの講演会・サロン事業・振興区主催事業へ参加

## みんな元気に!!サロン石丸!

#### 一 石丸自治会 一

毎月第3水曜日がサロン会となっています。コロナの影響でずっと休んでおりましたが、10月20日のサロン会は備北丘陵公園へ出かけました。

到着後、ロードトレインに乗って散策しました。公園内は綺麗に整備され、コスモス、けいとう、ジニア(百日草)などが咲き、久しぶりに会う皆さんと楽しく会話もはずみました。

広場で弁当を食べ、その後は自由行動としましたが、皆さんにとって近くても普段行くことのない丘陵公園を改めてみんなで楽しむことが出来ました。

感染予防のため久しぶりのサロンとなりましたが、メンバーが集まれば会話も食事も楽しく 充実した時間となり、人のつながりの大切さを改めて感じました。

いつもサロンで行っている、シルバー体操、学びの講座、レクリエーション等も良いのですが、「外出」はいつもと違った楽しさがあり、わが町庄原の魅力発見と活力にもつながります。 サロンメンバーも元気に!!地域も元気に!! サロンはまさに元気の源(みなもと)です。







### サロンで"ポッチャ"を楽しみました!

#### 一 大黒上自治会 一

大黒サロンは毎月第4水曜日に開催しますが、12月は休みます。11月24日は市社協の貝崎さんに参加して頂いて、ボッチャゲームを楽しみました。当日はあいにくの雨模様と、寒さのためか?6名の参加者で開催しました。会はテーマソングの"上を向いて歩こう"を合唱後、秋の唄を数曲合唱し、貝崎さんの簡単な説明で、早速ボッチャゲームを始めました。

始めのゲームはパイプ椅子で輪になって座り、中心に白玉を投げ置き、6人が2個ずつ投げ合って白玉に近い人が勝利です。ワイワイ、ガヤガヤ1球投げるごとに盛り上がる楽しいゲームです。次のゲームは3人ずつのグループに分かれてチーム戦です。白玉を遠くにしたり、近くにしたりしながら数ゲームを楽しみました。(ゲームに熱中して写真撮影を忘れました)









#### 1月の振興区主催行事予定

11日(火) 理事総務企画室合同会議

13:30~

18日(火) 環境美化防犯パトロール

9:00~

(宮内・永末・大久保東、西・美湯ハイツの各自治会長)

25 日(火) 役員会

13:30~

毎週1回 青少協防犯パトロール

16:30~







# 🌽 編集後記

11月23日、県北に初雪の降った日に、のろしリレーを行いました。寒い中でも振興区役員(自治会長等)が集い、みんなで火をおこし、煙を上げました。強風の中でしたが、高地区が上げたのろしも見えました。高地区は山に登っての発煙で、そのご努力に敬意を表します。◆11月の初めには、振興区活動報告・作品展をふれあいセンターで行うことが出来、コロナ禍により中断していた地域づくり、町づくりもやっとできるようになりました。

◆病気は無くなりません。インフルエンザもノロウィルス も対策を取りながら行ってきました。閉じこもって活気 が無くなるのも人間として困った問題となります。みん なで元気な社会づくりをして行きたいものです。

松浦 記